

サロンのブランド戦略になる プライベートブランドを

大阪府で『女性のカラダ』に着目したトータルワークサロン『Bravo Lab.』を主宰する三木順子さん。

世界基準のオーガニック認証とも言われるエコサート認証を得ている

彼女のプライベートアロマブランド『Sentimiento Elisa』誕生の背景を伺いました。

取材・文・写真◎蔵麻子 写真◎株式会社ブラボールラボ、株式会社スハホスピタリティ



Profile

三木順子さん

みきじゆんこ 『Bravo Lab.』代表取締役/ディレクター。1968年 神戸生まれ。甲南大学大学院経営学卒業。大手建設会社勤務後、フランスで美容の仕事に携わり、2012年株式会社ブラボールラボ設立。現在は、医療・福祉業界まで活動の幅を広げる。

女性のカラダを守る 高品質な精油を展開

年齢ごとに変化する『女性のカラダ』を知り、一緒に解決策を見つける研究所(ラボ)というコンセプトで、2012年に『Bravo Lab. (ブラボールラボ)』を設立した三木さん。オーナーとして、アロマの施術と、しなやかで女性らしい健康なカラダ作りのためのワークショップに取り組みんでいます。そんな彼女がラボ立ち上げに合わせるプロデュースしたのが、アロマセラピーシリーズ『Sentimiento Elisa (センチメント エリサ)』。サロンの顔として、施術はもちろんワークショップでも大いに活用しています。『ブラボールラボでは、『四季の養生と

アロマセラピー』というワークショップをオープン時から続けています。1レッスンで12本程度の精油を紹介するので、それをきっかけに精油を日常に取り入れてくださるお客さまが多いですね」と三木さん。プライベートブランド展開をしていることで、精油購入はもちろん、施術やワークショップへのリピーター獲得へとつながっているのです。

そもそも三木さんが精油のプライベートブランドを持つことにしたのも、主宰するブラボールラボのブランディングに必要と考えたから。

「元々は美容の仕事をしていたので女性が年齢とともに心身のメンテナンスが必要となってくることを実感



Private Brand

『Sentimiento Elisa』

素材・品質にこだわったフランス直輸入の100%天然のエッセンシャルオイル。フランスでは医療現場でも用いられている『メディカルグレード』の精油を、目的別にシリーズ化。5ml 1,728円~3ml 10,800円(税込)まで高品質な商品を展開。<http://elisa.thebase.in>にてネット購入も可能。



Step1



CONCEPT

40代女性の日常に
高品質なアロマテラピーを

『Sentimiento Elisa』の商品コンセプトは、『女性のデイリーケアとともにあるアロマ』。『Sentimiento』は揺れる女性の感情。『Elisa』は芯の強い女性のイメージとして童話の主人公をモチーフに。陰陽を表す月と植物をモチーフとしたロゴに、40代女性の日常使いに相応しい落ち着いたカラー展開に。

Step2



PROCESS

信頼できるフランス産精油の
輸入元にOEMを依頼

植物療法の権威であるフランスの薬剤師ピエール・ランベール氏が手がけた精油を直輸入している株式会社スパホスピタリティーにOEMを依頼。フランスには植物療法を行う医師や薬剤師がおり、そこに卸す精油を原料の生産農家から厳選して製造しているのがランベール氏。オーガニックを証明するエコサート認証にも対応する。

Step3



USE

起業したサロンの顔として
ブランド展開

女性が自身の悩みから選びやすいよう、「バランス」「エナジー」など6テーマにカテゴリーされた58種類の精油を展開。「一番おすすめしたいのが、『ザ・ウーマン』というカテゴリーで提案している精油。クラリセージやゼラニウムなど、女性のホルモンバランスを整える精油を取り揃えています(三木さん)」。

するようには。『そんな女性たちが通える場所を作りたい!』と仲間と一緒に、ブラボー・ラボを芦屋からスタートさせました」

ブラボー・ラボのターゲットは、さまざまな心身の揺らぎに悩まされる40代を中心とした女性。『Sentimiento Elisa』もそうした女性の『デイリーケアとともにあるアロマ』としてコンセプトや、デザインからこだわって作

られているのです。

品質にこだわり選んだ
フランス産の精油

三木さんがOEMを依頼したのは、大阪を拠点にアロマテラピー商品の販売を手掛ける株式会社スパホスピタリティー。アロマテラピーサロン『モンサンミッシェル』運営のほか、セラピ

スト養成スクール『ジャパン・エコール・デ・アロマテラピー(JEA)』も運営している株式会社サンリツのグループ会社で、サロンやスクールで使用する精油をフランスの老舗ラボラトリーから直輸入。

「私がアロマテラピーを学んだのがJEAだったことから、OEMのことも入学時から知っていました。だからOEMは早くから意識していましたね。」

何より、スクールで使用していた精油の香り・質の高さを実感していたので、同じグレードの物をプライベートブランド展開できることに魅力を感じました。自分のサロンですから、安心と自信を持ってお客さまに進められる商品でない」と

小ロットから発注できるのも、スパホスピタリティーのOEMの魅力。ラベルさえ渡しておけば、必要数を充填・ラベリングして納品してくれます。

「商品コンセプトをしっかりと企画し、ラベルデザインまでできれば、OEMは難しくありません。大事なものは、OEMできる精油が信頼に足るものかどうかの見極めです。スパホスピタリティーでは、植物療法の権威であるフランスの薬剤師ピエール・ランベールさんが手がけた精油を直輸入。ランベール氏は定期的に来日セミナーを開かれており、私もフランスで治療として用いられる精油のブレンドレシピなども学ばせていただきました」

メデイカルグレードの精油を持っている、という自信から、三木さんは今後、高齢者の介護福祉や医療現場にアロマセラピーを導入しようと考えています。検証段階ながら、臨床心理士とチームを組んで、高齢者のQOLを高める活動や、発達障害の子どものケアにもアロマを導入するなどの活動を推進。OEMから始まったアロマの取り組みが、活躍の幅を広げています。